

# El hombre que se creía Vicente Rojo

自分はビセンテ・ロホだと信じていた男



著者: [ソニア・エルナンデス](#) [1]  
出版社: [QUADERNS CREMA, S.A.U.](#) [クアデルンス・クレマ](#) - [2]  
言語: スペイン語  
発行年: 2017  
ページ: 144  
刷数: 1  
定価: 16.00 €  
ISBN: 978-84-16748-39-6  
ジャンル: 文学  
SPRING  
2018  
シーズン: 年 2018

ベルタは自分の人生には不愉快なことしか起こらない定めだと思っている。だから、現実の違った見方を与えてくれる何かを探す。彼女の母親はときに自身のものとして認識できない決断や外見の鎧の下に自分を隠している。彼女たちの人生に、メキシコの高名な芸術家ビセンテ・ロホと名乗る男が登場し、驚くべきアイデンティティ・ゲームが始まる。そのゲームの中では、自分を認識したり、自分の手に届くものとそうでないものを区別することが難しい。それは人生の不思議な教訓だ。「私は平安の境地に達しただけでなく、素晴らしい仕事をしたと言える。私は文化のために懸命に働いてきた。それは私が興味を持った唯一のものだった。

良い詩を読んだり、音楽を聴いたり、美しい絵を見たりする以上に心地よい感覚を私は知らない。それがあらゆることの唯一の意味であり、私たちはその場所から追放され、生涯ずっとそれを探しているのだ」

翻訳権の窓口会社名: Quaderns Crema S.A

CIF: A58525502

所在地: C/ Muntaner, 462 3r 1a

担当: Elena Barrio

電話: 934 144 906

メール: [rights2@acantilado.es](mailto:rights2@acantilado.es) [3]

URL: <http://www.acantilado.es/> [4]

その他受賞、批評:

「ソニア・エルナンデスは、El hombre que se creía Vicente Rojo (自分はビセンテ・ロホだと信じていた男) によって、同世代で最も個性的な語りをする作家のひとりだとはっきり示した」(「ラバングアルディア紙」)

Source URL: <http://www.newspanishbooks.jp/book-jp/el-hombre-que-se-creia-vicente-rojo>

Links:

[1] <http://www.newspanishbooks.jp/author-jp/soniaerunandesu-0>

[2] <http://www.newspanishbooks.jp/publisher-jp/quaderns-crema-sau-kuaderunsukurema-0>

[3] <mailto:rights2@acantilado.es>

[4] <http://www.acantilado.es/>